

メッセージアウトライン

ヨハネ17：20~26「一つとなって」

ここはイエスの第三の祈りである。「彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにもお願いします」(20) 19節まではイエスの直接の弟子たちのための祈りであったが、ここからはイエスが天に帰られて後、その弟子たちが福音を宣べ伝えて、それによって信じるようになる人々のことを言っている。つまりそれは世の終わりに至るまでのすべての信仰者のことである。その中に私たちも含まれている。イエスの父なる神に対する願いは、父なる神と子なるイエスが親密な交わりの中にあるように、新しく信じた人々がみな一つとなることであり、また信仰者がそのように一つとなることによって、父なる神とイエスとの交わりに入ることができ、さらにそれを見た世の人々が、神が世を救うためにイエスをこの世に遣わされたことを信じるようになることなのである。(21)

イエスは父から与えられた栄光を彼らにも与えたと言われる。(22)その目的はイエスと父とが一つであるように信仰者たちが一つであるためである。イエスと信仰者たちと父なる神との親密な関係の中にあつて、信仰者たちが一致のうちに全うされ、完成されるようにとイエスは願われる。(23)信仰者たちの一致が全うされるとどうなるのか。「それは、あなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛されたように彼らをも愛されたこととを、この世が知るためです」つまり、イエスが父なる神から遣わされた救い主であるということと、その父なる神がイエスと同様に信仰者たちをも愛しておられるということと、この世の人々が知るためなのである。このようにしてイエスは父なる神への祈りの中で繰り返し、信仰者たちが一つとなるように願っておられる。この「一つとなる」ということについて色々な意見があるが、これは霊的な一致のことであり、愛による一致のことである。信仰者はそしてその集まりである教会は霊的な一致、愛による一致が必要なのである。父なる神と子なるイエスがお互いに愛の交わりの中にあるように、イエスを信じる信仰者も、その交わりの中に入れられ、お互いに愛し合い一つとなっていく。その時、世の人々はあなた方の中に神がおられる、あなたがたをそのように愛し合う存在に変えたイエス・キリストこそまことに神からの救い主だということを知るようになるのである。

聖書が教える愛→ I コリント13:1~8 , I ヨハネ4:9~11

イエスはさらに、「あなたがわたしに下さったもの」つまりイエスを信じる信仰者たちが、「わたしのいる所」つまり天国でわたしといっしょにすることができるようにしてくださいと祈る。(24)それは世の始まる前から与えられていたイエスの栄光を信仰者たちが見るようになるためである。イエスは、「この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りました」(25)と言われる。これはイエスを救い主と信じたということであり、まさにこれは神の恵みである。神の一方的な恵みが人を救いに導くのである。イエスは信仰者たちに父なる神の御名を知らせ、またこれからも知らせるといわれる。それは信仰者たちが父と御子イエスとの愛の交わりの中に入れられるためである。私たち信仰者はこのようにイエスに祈られている者である。私たちもそれに答えて、このイエスにおいて示された愛をもってお互いに助け合い支え合い、一つとなり、世に出て行って神のすばらしい愛とその救いを証しする者となろう。